

# 熊本県水政策アドバイザーについて

## 【設置目的】

平成23年3月に水の戦略会議が取りまとめた提言書『水の国くまもと』をもとに本県が健全な水循環と水環境調和型社会が形成された地下水の恵みあふれる「水の国」となるよう、県が今後取り組むべきプロジェクトの企画立案等に関して、専門的見地から提案等をいただくため「熊本県水政策アドバイザー」を設置しました。

## 【プロジェクト事項】

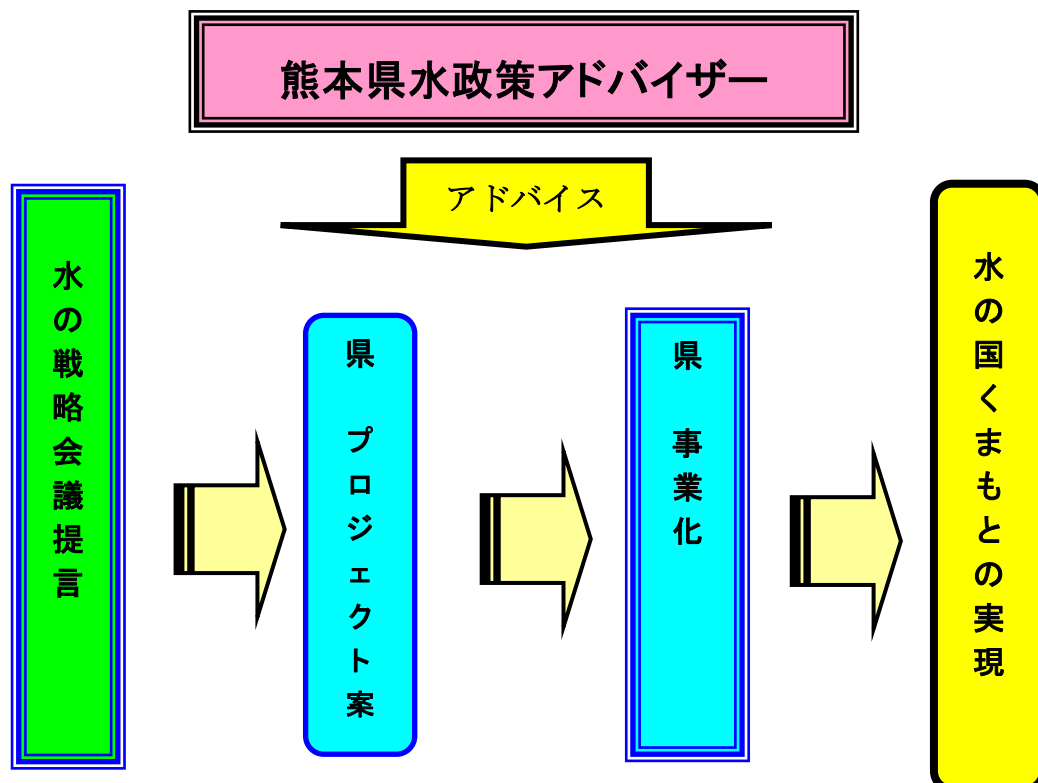
アドバイザーに提案等をいただく事項は次のとおりです。

- (1) 熊本の地下水の魅力を磨き上げ全国にアピールするためのプロジェクト
- (2) 日本一の水環境教育を実現するためのプロジェクト
- (3) 健全な水循環を確立するための地下水保全プロジェクト
- (4) その他、「水の国」の実現のため必要なプロジェクト

[熊本県水政策アドバイザー名簿]

※平成27年7月現在

氏名	役職名
市川 勉	東海大学産業工学部教授
長野 克也	東海大学農学部応用植物科学科教授
嶋田 純	熊本大学大学院自然科学研究科教授
田中 浩二	熊本電波工業高等専門学校(現熊本高等専門学校)名誉教授
川野 由紀子	くまもと川の女性フォーラム実行委員長
宮原 美智子	NPO法人くまもと温暖化対策センター顧問
江崎 幹秀	写真家



## ※水の戦略会議提言より抜粋

### 提言 2 水政策アドバイザーの助言による先進的な水政策を推進する

2カ年にわたる「水の戦略会議」における議論を経て取りまとめられた本提言に沿った取組みを具体化するため、県は、水政策アドバイザーを設置することが必要である。

特に、熊本地域における地下水量・質の保全対策については約百万人の暮らしに関わる緊急の課題である。また、地下水の魅力の磨き上げや付加価値化、情報発信等の活用方策についても、平成23年3月の新幹線全線開業を契機とした「くまもとの認知度向上」に向けた喫緊の課題である。このような課題に対して、効果的かつ対外的にもインパクトのある取組みを進めていくためには、全国的、国際的な視点からプロジェクトを企画できる水環境分野の第一人者の方を、本県の水政策アドバイザーとして迎え、様々な角度からの示唆を得ることが考えられる。このアドバイザーから助言、提言をいただきながら、地下水の保全や魅力の磨き上げ、付加価値化、情報発信等に係るプロジェクトの企画を行い、「水の国」熊本の実現を図ることが必要である。

#### 【企画案の例】

- ・熊本地域における効果的な地下水かん養対策や硝酸性窒素削減対策の提案
- ・全国、世界に向けて「熊本の地下水」をアピールするためのプロジェクト
- ・「熊本は地下水の宝庫」というイメージを発信し、本県への来訪、物産の販売へつなげる
- ・名水百選を活用した名水ツーリズムの企画、ホームページの開設
- ・地下水資源に対して理解の深い著名人を「地下水サポーター（仮称）」に任命し、熊本の地下水についてPR
- ・学会や水環境教育全国大会、名水サミット、地下水活用シンポジウム等の開催、日本水フォーラム又は世界水フォーラムの誘致等